

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-162	高等学校	地理歴史	世界史 A	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	世 A 311	世界史 A 新訂版		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

教科書の編修にあたっては、豊富な資料と平易でわかりやすい記述により基本的な歴史事項をおさえることができるよう配慮した。そのさい、地理的条件との関連付けに加え、世界の歴史を我が国の歴史と関連付けながら理解させるよう工夫した。

本文記述を様々な観点から補うコラムを多数設け、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにした。また、地図や写真など図版を豊富に掲載することにより、世界の各地域とその歴史をイメージ豊かに学習できるようにした。

さらに、生徒がさまざまな図版資料や統計資料を活用しながら主体的に学び、歴史的思考力を培うことができるように工夫し、日本国民として国際社会で主体的に生きていく力の育成を図った。

## 2. 編修の基本方針

○ 2条の目標を達成するため、次の通り編修した。

- ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、世界史学習をより深めることができるよう「ステップアップ」や「写真ページ」などの特別ページを設けた。また、歴史の大きな流れを概観できる部扉やまとめのページを掲載した（第1号）。
- ・ 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラム「歴史を動かした人々」で取り上げ、彼らがその能力や創造性によって世界史上に果たした意義などを記述したほか、「世界史へのいざない」では生徒が主体的に学習できるよう課題例を設けた（第2号）。
- ・ 男女の平等を重んずる態度を養う観点から、写真ページやコラムなどで各時代・地域の女性を取り上げた（第3号）。
- ・ 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、第1章で諸地域世界の自然環境を扱ったほか、終章で地球環境問題と国際的な取り組みについての記述を掲載した（第4号）。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、本文記述において各時代の日本の歴史について記述したほか、同時代の世界と日本の関わりを示す事例を取り上げたコラム「コラム日本史」を設けた（第5号）。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、地勢図によって世界の自然環境を概観できるようにした（第4号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、世界史における王朝・国の変遷を図表にして取り上げた（第1号）。</li> </ul>	前見返し 1～2 前見返し 3
世界史への いざない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、世界の風土と人の生活との関わりについて記述した（第4号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、我が国の音楽の歴史とそこにみられる外国の影響について記述した（第5号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が主体的に学習できる課題例を設けた（第2号）。</li> </ul>	p. 8～9 p. 10～11 p. 8～11
序章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、自然環境の変化が人類の歴史に大きな影響を与えてきたことについて記述した（第4号）。</li> </ul>	p. 14 p. 14～15
第1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、西アジア世界、ヨーロッパ世界、南アジア・東南アジア世界、東アジア内陸アジア世界の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができる特集やコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを特集やコラムで取り上げた（第5号）。</li> </ul>	p. 16, 24, 32, 38 p. 17, 33, 35, 39, 47 p. 21, 25, 30, 34, 44 p. 37, 43
第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、海や砂漠などの自然環境が人々の交流に与えた影響について記述した（第4号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。</li> </ul>	p. 48～51 p. 49, 51 p. 51
第3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、南北アメリカ大陸の自然環境の特色とそれに適応した人々の営みについて記述した（第4号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。</li> </ul>	p. 58～59 p. 59, 69

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、大航海時代の日本の歴史について記述した（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 57, 62, 63, 65, 66, 69, 70, 71</p> <p>p. 57</p>
第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、14～17世紀の日本について記述した。（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 75, 85</p> <p>p. 72, 74, 79</p> <p>p. 77, 79～81</p>
第5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができる特集やコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性を取り上げた特集やコラムを設けた（第3号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 107, 120, 121, 140</p> <p>p. 95, 96, 106, 109, 110</p> <p>p. 101, 113, 118, 133, 136</p> <p>p. 117, 123, 138, 141</p>
第6章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができる特集やコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性を取り上げた特集やコラムを設けた（第3号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 157, 167, 172, 173, 176, 177, 186, 187など</p> <p>p. 168, 180</p> <p>p. 151, 153, 165, 167など</p> <p>p. 149, 169, 171, 173, 175</p>
第7章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性を取り上げたコラムを設けた（第3号）。</li> <li>・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、ベトナム戦争における枯れ葉剤使用の影響について記述した（第4号）。</li> </ul>	<p>p. 198, 203</p> <p>p. 191, 193, 194, 195, 197, 198</p> <p>p. 196, 205</p> <p>p. 199</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設けた（第5号）。</li> </ul>	p. 200
第8章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、最新の研究成果をとりいれ、世界史学習をより深めることができるコラムを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げたコラムを設け、本文では現代の国際関係における日本について記述した（第5号）。</li> </ul>	p. 208, 212, 213, 214 p. 209 p. 207, 215
終章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって世界史上に果たした意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒の主体的な学習を導く問いかけ文を設けた（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性を取り上げたコラムを設けた（第3号）。</li> <li>・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、地球環境問題・人権問題・エネルギー問題・紛争問題などとそれに対する国際的取り組みについて記述した（第4号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、世界と日本の関わりを取り上げた（第5号）。</li> </ul>	p. 216, 217 p. 216, 218, 220, 222, 223 p. 219 p. 216, 223 p. 224, 225
後見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、ヨーロッパ人名対照表や現在の世界地図を掲載した（第5号）。</li> </ul>	後見返し 4～6

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。）に即して、本文記述や特集など教科書全体を通じて、国際社会に生きる高校生が世界の歴史を日本の歴史と関連付けながら理解し、現代社会が抱える課題についても考察することができるよう配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-162	高等学校	地理歴史	世界史 A	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	世 A 311	世界史 A 新訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

「世界史 A」が地理歴史科の必修科目であることを鑑み、生徒が興味・関心を持ちながら、基礎的・基本的な事項を無理なく学習できるように、以下の点について配慮した。

- 1) 全編にわたって近年の研究成果をふまえ、近現代を中心とする世界の歴史の大きな枠組みと展開を理解できるよう、丁寧にわかりやすく記述した。
- 2) 地図や流れ図、年表を用いて視覚的に学習内容を概観できる部扉やまとめのページを設け、生徒が大きな歴史の流れをとらえることができるよう配慮した。
- 3) 本文を理解するうえで重要な歴史用語については、「用語説明」でコンパクトにわかりやすく解説した。
- 4) 歴史上の著名な人物を取り上げ、世界史上に果たした意義や興味深いエピソードを記述したコラム「歴史を動かした人々」を随所に設けた。
- 5) 多様な視点から世界史学習を深め、生徒の興味・関心を高められるよう、新しい研究成果を盛り込んだ「コラム」や「ステップアップ」を随所に設けた。
- 6) 生徒が各時代における世界と日本を関連付けながら学習できるよう、世界と日本の関わりを示す事例を取り上げたコラム「コラム日本史」を設けた。また、部扉でもその部で学習する時代における日本の歴史の概要を掲載し、日本史との連携・接続を図った。
- 7) 生徒が地理的条件と関連付けながら世界史を学べるように、第 1 章・第 3 章ではそれぞれの地域世界の自然環境を概観できるようにした。
- 8) ヨーロッパ史や中国史など、それぞれの地域の歴史を通して学習する際に役立つよう「地域別インデックス」を設けた。
- 9) 世界史を学ぶうえでの基本的な知識をまとめた「世界史を学ぶための基礎知識」を設け、生徒がスムーズに世界史学習に入ることができるよう工夫した。
- 10) 社会、文化、経済、宗教、生活などを取り上げた「写真ページ」を設け、政治史や経済史以外の観点からも世界史学習を深めることができるように配慮した。また、歴史上重要な役割を果たした都市を取り上げるコラム「都市を歩く」を設け、他国への関心・興味を高め、他国を尊重する態度を養うようにした。

11) 生徒が学んだ知識を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し成果などを表現するために必要な思考・判断・表現力を養うため、終章において各節冒頭に問いかけ文を設けた。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
世界史へのいざない 1 風土がはぐくむ人々の暮らし	(1) 世界史へのいざない ア 自然環境と歴史	p. 8～9	1
2 妙なる楽の音 日本列島へ	イ 日本列島の中の世界の歴史	p. 10～11	1
序章 文明のはじまり		p. 14～15	1
第1章 ユーラシア諸文明の特質	(2) 世界の一体化と日本 ア ユーラシアの諸文明	p. 16～47	8
第2章 ユーラシアの交流		p. 48～51	2
第3章 一体化に向かう世界	イ 結び付く世界と近世の日本	p. 56～71	7
第4章 アジアの繁栄と世界		p. 72～87	4
第5章 19世紀の世界の一体化と日本	ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 エ アジア諸国の変貌と近代の日本	p. 92～141	1 6
第6章 二つの世界大戦	(3) 地球社会と日本 ア 急変する人類社会 イ 世界戦争と平和	p. 146～187	1 4
第7章 第二次世界大戦後の世界と日本	ウ 三つの世界と日本の動向	p. 190～205	4
第8章 現代の世界	エ 地球社会への歩みと課題	p. 206～215	3
終章 持続可能な世界をめざして	オ 持続可能な社会への展望	p. 216～225	2
		計	6 3